

平成 30 年度 災害医療救護通信エキスパート育成事業実施計画

1 災害医療救護通信エキスパート育成事業とは

災害医療救護通信エキスパート育成事業に係る研修・訓練等（以下、「通信エキスパート研修」という。）は、首都直下地震、南海トラフ地震等の大規模災害時において、国民の生命・身体を守るために行われる医療・救護活動等を円滑に行うために必要とされる情報伝達の手段として使用される衛星携帯電話及び衛星データ通信をはじめとする各種無線機器等を適正かつ有効に取り扱うことができる人材を育成し、災害医療・救護活動等の維持を図り、被災者の医療活動等の支援に寄与することを目的とする総務省事業として、平成 29 年度から「災害医療救護通信エキスパート育成協議会（会長：相田仁東京大学工学系研究科教授）」が実施しているものです。なお、本事業の事務は、総務省からの請負として公益財団法人日本無線協会が行っています。

2 レベル別の研修・訓練等の日程

本年度募集する通信エキスパート研修は、上級レベル研修、標準レベル研修及びオンラインの 3 区分とし、上級レベル及び標準レベル研修の修了者には認定証及び記章を交付します。また、オンライン研修の修了者には、修了証を交付します。

それぞれの日程及び会場は次のとおりです。なお、当該研修の受講料は無料です。

(1) 上級レベル（2日間研修）

回	実施日	研修会場	募集人数	申込期間
1	平成 30 年 8 月 31 日(金)～9 月 1 日(土)	スカパー JSAT 横浜衛星管制 センター(神奈川県 横浜市)	20 名	7 月 1 日～7 月 31 日
2	平成 30 年 9 月 21 日(金)～22 日(土)		同 上	
3	平成 30 年 10 月 12 日(金)～13 日(土)		同 上	8 月 1 日～8 月 31 日
4	平成 30 年 11 月 16 日(金)～17 日(土)		同 上	

(注) 2 日間にわたっての研修です。各回は同一内容です。

申込期間前は受付できません。

【上級レベルの目標】

衛星データ通信機器等の設営・メンテナンス及び操作の指導ができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる知識及び技能のうち、高度なもの(主に衛星データ通信に特化した内容)を習得する。

(2) 標準レベル（1日研修）

回	実施日	研修会場	募集人数	申込期間
1	平成 30 年 8 月 24 日(金)	東京臨海広域防災公園 (東京都江東区)	30 名	7 月 1 日～ 7 月 31 日
2	平成 30 年 8 月 25 日(土)		同 上	
3	平成 30 年 9 月 7 日(金)		同 上	
4	平成 30 年 9 月 8 日(土)		同 上	
5	平成 30 年 10 月 26 日(金)	総務省情報通信政策研究所 (東京都国分寺市)	同 上	8 月 1 日～ 8 月 31 日
6	平成 30 年 10 月 27 日(土)		同 上	
7	平成 30 年 12 月 7 日(金)	東京臨海広域防災公園 (東京都江東区)	同 上	10 月 1 日～ 10 月 31 日
8	平成 30 年 12 月 8 日(土)		同 上	
9	平成 30 年 12 月 21 日(金)		同 上	
10	平成 30 年 12 月 22 日(土)		同 上	

(注) 1 日間の研修です。各回は同一内容です。

申込期間前は受付できません。

【標準レベルの目標】

衛星携帯電話等の機器を適正に操作・使用できるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる標準的な知識及び技能(主に衛星携帯電話による音声通話を中心とした内容)を習得する。

(3) オンライン研修

以下のサイトで随時受講できます（実技はありません）。

下記の gacco トップページから「新規会員登録」・「ログイン」の上、受講コード「DCOME2018」を登録し、「災害医療救護通信エキスパート研修2018」を受講してください。（開講は8月1日を予定しています。）

<http://gacco.org/>

【オンライン研修の目標】

衛星携帯電話等と携帯電話等との違いを理解することができるレベルを目標とし、非常用通信手段の適正利用を実現する上で必要となる基礎的な知識を習得する。

なお、上級又は標準レベル受講者は、予習のため、必ず事前に受講修了してください。

(4) 講師育成研修

上級又は標準レベル受講修了者を対象として選考いたします。一般公募は行いません。

3 受講科目、受講時間、受講資格

(1) 受講科目及び受講時間

受講区分	種別及び受講時間		受講内容
上級レベル (2日間研修)	座学	1.5時間	○非常災害時の通信確保の必要性・重要性 ○災害医療・救護活動において確保されるべき非常用通信手段に関するガイドライン ○非常用通信手段の種類と特徴、メリット・デメリット ○電波法制、電波システムの適正利用 ○機器の管理方法等
	実技 (屋外)	6時間	○衛星データ通信(VSAT等)の設置・操作、PCネット接続(Wi-Fiの設定を含む)及びアプリ操作(EMISへのログインまで) ○デジタル簡易無線の設定、通信操作の確認
	能力認定試験	45分程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、熟度を試験によって確認(認定)
標準レベル (1日研修)	座学	1.5時間	○上級レベルの内容についての基本的知識
	実技 (屋外)	3時間	○衛星携帯電話の設定・通信操作 ○デジタルMCA無線、デジタル簡易無線の設定、通信操作の確認 ○衛星データ通信の操作、PCネット接続
	能力認定試験	30分程度	○座学及び実技のそれぞれについて、その理解度、熟度を試験によって確認(認定)

*受講時間は目安であり、研修状況等に応じて延長することがあります。

*実技に関する能力認定試験は、実技研修中に実施します。

*オンライン研修は、gacco ASP サイト上にアップロードされた資料で随時の受講になります。

(2) 受講資格

受講区分	受講資格(いずれかに該当する者)
上級レベル	○DMAT、JMAT、DPAT、日赤救護班等で、災害医療に1年以上の業務経歴を有する者 ○日本災害医学会認定災害医療ロジスティクス専門家として認定された者 ○地方公共団体(保健所を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者 ○医療関係者等であって、上記と同等の知識を有する者 ○医療関係者等であって、第二級陸上特殊無線技士国家資格を有する者又は第三級陸上特殊無線技士国家資格を有し1年以上の業務経歴を有する者
標準レベル	○医療関係者等であって、1年以上の業務経歴を有する者又は同等の知識を有する者 ○地方公共団体(保健所を含む。)において、災害医療や防災・非常通信等の関係部署に属する者 ○医療関係者等であって、第三級陸上特殊無線技士国家資格を有する者

*オンライン研修については、特に受講資格は必要ありません。

4 申込方法

(1) 申込方法と申込期間

- 上級・標準レベルは、実施回毎に募集します。受講申込書に必要な事項を記載し、メール又はFAXで下記提出先に、実施回毎の申込期間にご提出ください。
- 定員になり次第、受付を終了します。申込期限までに定員に満たない場合は受付を継続します。
- なお、定員に大幅に満たない場合や、荒天の場合等、取りやめにする場合があります。
- 本協議会は受講者を決定し、全ての申込者に対して受講の「可否」を通知します。(先着順ではありません。)

(2) 提出書類

受講申込書の用紙は、関係機関等に送付しますが、公益財団法人日本無線協会のホームページからダウンロードもできます。

(3) 提出先

提出方法	メールアドレス/FAX番号
メール	e-uketuke@dcome0929.onmicrosoft.com
FAX	0225-92-8382

5 留意事項

- 屋外での長時間の実技実習がありますので、雨(できるだけ「カッパ」)や寒さ、暑さ対策への服装をご準備ください。
- やむを得ない事情により受講できなくなった場合は、早期の連絡をお願いします(電話070-1002-9607)。
- 講習時間が不足すると能力認定試験が受けられなくなる可能性がありますので、研修・訓練の開始時刻に遅れないようご注意ください。
- 研修会場に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用下さい。
- 研修会場の近くに食堂・売店等はありません。昼食については、事前に準備してご参加ください。
- 公益財団法人日本無線協会は、個人情報を含む申込書を他の目的に使用することはありません。

6 その他

通信エキスパート研修は、災害医療救護等に従事する者が大規模災害時において、通信連絡回線を確保するための通信技術のスキルアップを図ることで通信エキスパート人材を育成するものです。

公益財団法人日本無線協会では、この主旨を踏まえ、更なるスキルアップのため、無線従事者国家資格取得のための養成講習会を本部及び全国の支部において、有料で開催しております。

詳細は、当協会のホームページをご覧ください。

<http://www.nichimu.or.jp/yousei/index.html>

【お問い合わせ先】

災害医療救護通信エキスパート育成協議会 事務局

公益財団法人日本無線協会 企画室(03-3533-5686) kikaku1[アットマーク]nichimu.or.jp

〒104-0053 東京都中央区晴海三丁目3番3号江間忠ビル